

在りし日の
工藤 事務局長



工藤さんを偲んで

◇函館を愛し、深い見識と広い交わりによる行動は、私達への無言の教えであり、支えてくれた。今後の会の運営を考える時、改めてあなたの存在感と重みを思うばかりです。

「歴風会」の初心を大事にして参ります。
平安を心から祈りつゝ、

会長 浜島 國四郎

◇「旧渡島支庁庁舎」の移転問題に端を発し結成された「函館の歴風的風土を守る会」の事務局長に工藤氏が選任された。

今に至るまでこの会の活動は続くが、その成果は創立より一貫して協力された氏の人柄と誠実な努力なくしてはと思ひ、深い感謝と敬意を表します。

初代会長 今田 光夫

◇「歴風会」のため、その理念の具現化のため、渾身の力を注がれました。

頼ることが多かっただけに、氏の存在の大きさに頭が下がります。

ありがとうございました。

副会長 高瀬 則彦



◇ナンデそんなに急いで逝かれたのですかー口惜しく、痛ましく、悲しみで胸が潰れます
昭和52年秋、「歴風会」発足の準備の時、会の要となる事務局長の選考が最大の悩みでした。「私でよければ…」予期せぬ電話を頂戴し幾万もの味方を得た喜びと感激は忘れません。超ご多忙の処、自ら選ばれた道、それはキット今後の町並みへの、ひいては函館に対する愛郷心からだと拝察されます。

今日迄、全国各地の他団体が羨むばかりの名事務局長として、「歴風会」の発展に尽されました。

温かなお人柄、剛にして柔、動にして静、豪にて且つ緻なる緩急自在の人生の達人として、私達はどんなにか教え導かれ、勇気づけられてきたことか……突然の訃報に茫然自失深い悲しみにひたっています。今遅ればせ乍ら、涙と共に謝意をおとどけます。

副会長 田尻 聡子



右頁の3枚は
平成6年10月23日 弘前研修会
亡くなる3日前の写真です。
(池内 会員撮影)



◇10月21日、タワーの食堂で、ウォーターフロント会議の話を1時間程したばかり。

これが最後になるとは！

党派を越えて、信頼出来る、かけがえのない大先輩を失ってしまった。

「歴風会」への思いを必ず引継ぎます。

安らかに眠り下さい。

運営委員 石井 満

◇弘前城での元気な姿が眼に浮かぶ、あの笑顔に、もう会うことが出来ない。縁とはいえ無常を感じ涙する。 合掌

運営委員 池内 和夫

◇15年間の永いご交誼をいただき、日頃あなたの若々しい行動力と卓越した識見、温顔と函館訛での説得力ある話術で、あらゆる議事をまとめ上げた手腕に、いつも感服いたしました。もっともっと御活躍を祈念していましたが、掛け替えのない人材を失い、惜みてあまりあり、断腸の思いです。

どうぞ安らかに眠り下さい。

運営委員 千葉 敬

◇ありがとうございました。

あまりにも突然なので、思い出すことが多く、二の句を継げませんでした。

「歴風会」をいつまでも見守って下さい。

運営委員 浜田 昌夫

◇写真博物館の開館を遺言された工藤先生。

生きる姿勢を教えてくださいました。

御冥福をお祈り致します。

運営委員 若山 直

◇ 悼

訃をうけて より露の世と 思ひけり。

露の世の 旅の半ばに 逝き給い。

温助は 還らず菊の 訣れかな

運営委員 前側 昌子

◇「はこだて史鐔」発刊のときのあなたの意気込みはそのま、「歴風会」の進む方向だと私は教えられました。

今、改めてその教えを思い、「歴風会」に微力を尽します。

ご冥福をお祈り申し上げます。

副会長 落合 治彦

工藤光雄さんの略歴

大正7年3月18日生

学 歴

昭和7年3月 函館市立弥生尋常小学校高等科卒業
昭和9年3月 函館市立商工実修学校卒業（夜間）

職 歴

昭和7年4月1日 函館社会事務所奉職
昭和8年4月1日 函館市に奉職
昭和14年2月20日 函館市退職（兵役のため）
昭和17年6月13日 函館市奉職
昭和18年3月3日 応召
昭和22年5月30日 復員後、経済部商工課員、競輪部、経済部商工観光課工業係長、観光係長
昭和37年5月11日 観光課長（初代）、農林課長、温泉事業課長（水道局）、函館病院分院事務課長、公害対策課長、固定資産評価審査委員会書記長、競輪事業部事業課長、競輪開催執務委員長を歴任
昭和52年3月31日 退職
昭和52年4月1日 五稜郭タワー株式会社 取締役渉外部長現在

兵 役

昭和14年3月3日 満州独立守備歩兵第21大隊第4中隊入隊（間島省延吉県明月溝）（現役任期後、予備役に編入）
昭和17年5月25日 除隊
昭和18年3月3日 キス力島守備隊要員として召集 旭川3部隊（27連隊）入隊
昭和18年5月19日 北千島幌延島柏原に上陸、5月29日アツツ島山崎部隊玉砕により北千島防備につく。（年74旅団通信大隊無線中隊）
昭和20年8月15日 終戦を迎える
昭和20年12月1日 ソ連軍用船にてウラジオストク市に連行、10日上陸抑留生活に入る
昭和22年5月19日 ナホトカ経由にて帰函（上陸地 舞鶴港）

公 職

昭和54年4月25日 函館市議会議員（3期 12年）
・議会選出の函館市農業委員会委員、函館市西部地区歴史的景観審議会委員
平成4年8月21日 函館市都市景観委員会委員（現在）
平成5年3月 新函館観光基本計画検討委員会委員（現在）

関係団体・現在

函館の歴史的風土を守る会（事務局長）
広中大学（仮称）函館圏実現推進会（理事）
函館の町並みを考える会
函館市文化団体協議会（監事）
箱館奉行所復元促進期成会（事務局長）
北海道日中青少年交流協会（会長）
はこだて日本の風の会（会長）
北海道サッカー協会（副会長）
北海道社会人サッカー連盟（副会長）
函館サッカー協会（会長）
函館市体育協会（副会長）
函館市ゲートボール協会（会長）
渡島ゲートボール連絡協議会（会長）
新都心五稜郭協議会（理事）
五稜郭商工親和会（幹事）
日本釣振興会北海道函館支部（支部長）
函館松前会（会長）
青柳町会（町会長）
青柳町矢車会（会長）

北海道 函館商業高校定時制部会（顧問）
潮見中学校若潮会（会長）
函館民宿ペンション観光協会（名誉会長）
函館西部研究会（顧問）

叙 勲

昭和20年1月25日 勲七等 瑞宝章

賞

昭和39年5月20日 有功章 函館市体育協会
昭和54年4月26日 功労章 函館市体育協会
昭和46年9月11日 功績表彰 日本蹴玉協会
昭和59年6月9日 功績表彰 北海道体育協会
昭和61年1月12日 60年度原崎記念賞
北海道教育大学札幌分校サッカーOB会
平成1年2月11日 功績表彰 北海道社会人サッカー連盟
平成4年4月3日 功績表彰 北海道サッカー協会
平成3年8月1日 函館市功労者表彰 函館市
平成4年11月26日 北海道社会貢献賞（自治功労者）北海道